

別紙

ヒアリング審査 審査基準 (案)

評価項目	評価内容		配点
① 企画提案に係る評価	基本的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案者の会社概要 ・ 提案に対しての基本的な考え方、特徴やアピールポイント ・ 導入実績は十分あるか 	5
	システムの構成・性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案するシステム、ソフトウェア、機能等の全体像が説明されているか ・ ハードウェアの性能・構成は優れているか 	5
	システム機能・運用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操作性が高く、仕様書記載の要求水準を満たしたシステムとなっているか ・ システムを導入することにより、職員の負担を軽減し、事務効率化を図ることが考慮されているか 	10
	利用者への利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な利用者を想定した使いやすい利便性が考慮されたシステムであるか 	10
	ホームページ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行サイトの再構築のほか、スマートフォンやタブレット端末等にも対応し、利用者にとって使いやすい機能になっているか ・ 職員が更新しやすい工夫がなされているか 	10
	セキュリティ対策 個人情報保護対策 危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案システム（ホームページを含む）のセキュリティ要件に対する考え方は適切か ・ セキュリティ要件を担保し、かつ利用者の利便性の向上が図れる手法についての考え方は適切か ・ 個人情報の保護が確保された安全性の高いシステムであるか。 ・ クラウドデータセンターのセキュリティ対策・運用・体制・設備は適切か ・ 障害発生時に業務に影響を与えないための具体的な方策は適切か ・ 情報のバックアップ及びリカバリーの考え方は適切か 	10

評価項目	評価内容		配点
	構築体制 導入体制 スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の遂行に必要な担当者（資格、実績等）や人員は確保できているか ・導入スケジュール（移行作業の期間、作業内容、作業量、担当者を明確にしたスケジュール）は適切か ・スケジュールを遵守するための管理体制が十分に検討されているか ・操作研修、稼働時の支援体制は十分か 	10
	データ移行 （抽出含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・既存システムからのデータ移行方法等が確実かつ安全に行える提案となっているか ・データ移行のスケジュール、作業内容、役割分担等が十分であるか ・職員に過度な負担はないか 	5
	運用保守	<ul style="list-style-type: none"> ・システム導入後の運用保守方針・手法（システムの稼働時間、稼働環境、運用保守体制の内容）は適切か ・職員からの問い合わせへの対応方法（ヘルプデスク等）は適切か ・障害発生時の対応方法は適切か ・バージョンアップの内容、頻度は適切か 	10
	使用期間終了後時の 取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・使用期間満了もしくは終了後、円滑な移行かつ誠意ある対応が図られるか ・次期システムへデータ移行する場合、汎用的なデータ形式で全件分のデータを出力することが可能か 	5

評価項目	評価内容		配点
② 機能要件	機能要件	<p>・本市が要求する機能を果たしているか</p> <p>【得点基準】</p> <p>5,500点以上・・・50点</p> <p>5,300点以上5,499点まで・・・30点</p> <p>4,960点以上5,299点まで・・・10点</p> <p>4,959点以下・・・0点</p> <p>※提出された「志摩市立図書館システム機能要件一覧表」に係る適否状況により事務局で得点を合計し評価する。</p>	50
③ 実績	<p>図書館システムの業務を履行した実績はあるか。</p> <p>件数により評価：[件数]*2点（ただし、5件以上の場合は10点とする）</p> <p>※提出された実績により、事務局で得点を合計し評価する。</p>		10
④ 創意工夫	<p>・本業務の目的を達成するにあたり、独自のアイデアや工夫が含まれているか</p> <p>・志摩市にとって有益な提案となっているか</p>		10
合 計			150

注)

- ・ 各評価項目について、配点の項目に記載の点数を最高点とする。
- ・ 機能要件の適否に係る得点の範囲は-5点から5点までとし整数値で評点するものとする。
- ・ 標準点を（配点÷2）とし、優れているほど加点を、課題や改善点があるほど減点を行うものとする。